

令和元年 8 月 27 日

関係各位

(一社)ふくしまチャレンジはじめっぺ

代表理事 加藤博敏

ふくしま復興塾第 7 期 開塾式・双葉郡フィールドワークのご案内

拝啓

皆様におかれましては、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊法人が運営する「ふくしま復興塾」は、おかげさまで今年度第 7 期を迎え、昨年に引き続き「令和元年度 福島県 起業意識向上事業」の委託事業として実施する運びとなりました。新入塾生 11 名を迎え、9 月 14 日に開塾式を開催いたします。また、翌 9 月 15 日に双葉郡フィールドワークを実施いたします。ご多忙中とは存じますが、ご都合が許せばぜひご参加いただき、今年度も志ある塾生達を激励していただきたく存じます。

今後も引き続き、福島の、そして日本の未来を支えていく人材を育て、サポートを続けて参ります。何卒倍旧のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。略儀ながら書中をもちまして開塾式・双葉郡フィールドワークのご案内を申し上げます。

敬具

記

ふくしま復興塾第 7 期 ～開塾式・双葉郡フィールドワークのご案内～

①開塾式

- 1.日時 9 月 14 日（土）13 時半～17 時
- 2.会場 いわき産業創造館 会議室 1
- 3.住所 いわき市平字田町 120 番地 LATOV 6 階
- 4.交通 JR いわき駅南口に隣接
- 5.開塾式次第

- 1)開塾の挨拶、第 7 期概要紹介
- 2)第 7 期塾生紹介、メンター(有限責任監査法人トーマツ様)紹介
- 3)基調講演 木戸寛孝氏（世界連邦運動協会 常務理事）
- 4)全員参加グループワーク(各塾生のテーマについて意見交換会)

※ 17:30～ 懇親会 La Stanza(スタンツァ) 福島県いわき市平三町目 8-2 3F

会費 4500 円 ※懇親会に御出席いただける場合は 9/10(火)までにご連絡ください。

②双葉郡フィールドワーク

※大熊町の立ち入り制限区域に入るため、9/1(日)までにお申し込みください。

- 1.日時 9 月 15 日（日）9 時 15 分集合、9 時半発～17 時着
- 2.発着地 いわき駅南口（ミスタードーナツ前集合）

3.参加費無料（昼食代は各自負担）

4.服装、持ち物 牧場に行くので汚れても良い服や靴でご参加ください。

（天候によっては長靴推奨）

5.行程

いわき駅～広野町～檜葉町～(昼食)～大熊町～いわき駅

<主な訪問先>

1) 広野町 福島田んぼアートプロジェクト（4-5 期 OB 市川英樹さん）

2) 檜葉町 居酒屋 結のはじまり（3 期 OB 兼 7 期生 古谷かおりさん）

3) 檜葉町 道の駅ならは（昼食 各自）

4) 大熊町 もーもーガーデン（5 期 OB 谷さつきさん）

■主催 一般社団法人ふくしまチャレンジはじめっぺ、福島県「令和元年度 福島県 起業意識向上事業」

■協力 有限責任監査法人トーマツ様

■ご協賛 キリンホールディングス株式会社様、ヤフー株式会社様

お申し込み&お問い合わせ 事務局 山崎まで (k-yamazaki@fukushima-challenge.org)

① 開塾式参加（なるべく 9/4(水)までにお申し込みください。当日飛び入り参加可。）

氏名、所属、懇親会参加の有無

② 双葉郡フィールドワーク参加 ※立ち入り制限区域を含むため、9/1(日)申し込み締切

氏名、所属、電話番号(立ち入り許可申請のため)

以上

<開塾式基調講演> 講師：木戸寛孝氏

「復興とは何か」を再考する ～ 明治維新、2020 年東京オリンピック開催をふまえて～
去年は「明治維新」150 年。そして来年はオリンピックイヤーです。この二つの出来事は、日本の近代化、そして戦後日本を築き上げていく時代的節目の象徴的な出来事だったりします。

震災から 8 年が経ち、あらためて復旧（元の状態に戻すこと）ではなく復興とは何かを再考する上で、その時の自国の歴史を振り返り、当時の社会の背後にあった危機、可能性を遮る固定観念、変革の担い手の生き様などにフォーカスしながら、それを「今に生きる」私たちに重ね合わせてみることで、時代的な立ち位置の認識、自分の取り組みもうとしている課題の社会的意義などを一緒に考察したいと思います。

～講師 木戸寛孝氏 プロフィール紹介～



1969 年生まれ。電通を退社後、1999 年 10 月から千葉県香取市で農業に従事。
2006 年からはコンセプターとして株式会社 umari に参画し、コミュニティー事業(丸の内朝大学)、地域活性事業(三重県、島根県、宮崎県と神社を活用した地域交流プロジェクト、群馬県みなかみ町におけるヘルスツーリズム事業)、東日本大震災復興事業(東北復興・農業トレーニングセンタープロジェクト、ふくしま復興塾)における講師やコンセプトワークを行う。

国際 NGO 世界連邦運動協会の常務理事で、2002 年オランダ・ハーグに常設された国際刑事裁判所 (ICC) に日本政府が加盟するために尽力。世界初となる国際刑事裁判の法廷は東京裁判であり、A 級戦犯として無期懲役の判決をうけた木戸幸一は曾祖父にあたる。ライフワークとして、明治維新の背景にあった日本の「国体」についての研究をおこなっている。明治の元勳・木戸孝允の直系 6 代目。

< キリン絆プロジェクト & Yahoo! JAPAN -3.11 企画- による支援のご紹介 >

ふくしま復興塾は開塾以来、キリンホールディングス株式会社様の「復興応援 キリン絆プロジェクト」のご支援をいただいています。また、2018 年にはヤフー株式会社様、およびキリンホールディングス株式会社様など応援パートナー企業様が毎年 3 月 11 日に実施している「Search for 3.11」プロジェクト寄付団体の一つにふくしま復興塾を採択していただきました。

また、Yahoo! ネット募金の「-3.11 企画- 寄付は応援になる」にふくしま復興塾への寄付サイトを掲載していただき、これまでにのべ 5000 名以上の方々よりご寄付をいただいています。(右の QR コードのリンク先をご参照ください。)
※今年 5/31 までにくじ付き寄付していただいた方の中から抽選で 5 名様へ、大和川酒造店様から「純米吟醸 四方四里 弥右衛門」を賞品としてご提供いただきました。

復興応援
キリン
絆プロジェクト

笑顔で結ぶ。人を、日本を。



<https://donation.yahoo.co.jp/detail/5158001/>

フィールドワーク訪問OB紹介



■市川英樹 (4-5期OB)

「福島田んぼアートプロジェクト」

2017年いわき市四倉町のワンダーファームで田んぼアートを始め、2018年には檜葉町を加えた2カ所、2019年には広野町を加えた3カ所で田んぼアートを実施している。目標は2020年、東京オリンピックの年に30万人を福島へ呼び込むこと！

(紹介動画 <https://youtu.be/r9-KskmFEyc>)



■古谷かおり (3期OB、7期再入塾)

2017年9月より檜葉町にて、居酒屋「結のはじまり」開店。現在シェアハウス「萬寿屋」「参年」の2軒も運営し、多様な属性の人達(元々の地元の方々と復興関係で新たに住み始めた人々)を結ぶ場を作っている。移住してくる志ある若者が、地域コミュニティに馴染むための作法を学び、定住者が増えるよう、仕組みづくりのために7期へ再入塾を決意。



■谷咲月 (5期OB) 「もーもーガーデン」

大熊町にて、震災で避難できずに取り残された牛11頭(もーもーイレブン)を保護するもーもーガーデンを運営中。牛に草刈りをさせる「mowing」にて立ち入り制限区域内の環境保全にも取り組んでいる。2019年2月「日本復興の光大賞」大賞を受賞した。7月にはNHKで特集番組が放送され、全国から大きな反響が寄せられ、注目が集まっている。

ふくしま復興塾第6期(平成30年度)事業報告書についてはこちらからご覧ください。

→<http://fukushima-fj.com/>ふくしま復興塾-第6期-事業報告書